

2015年7月3日

このたび、当社ミャンマー事業が、経済産業省が取りまとめるミャンマー産業の将来像と、それを実現するために優先的に取り組むべき施策をまとめた「ミャンマー産業発展ビジョン」の産業プロジェクト集として推薦されました。

News Release



平成 27 年 7 月 3 日

「ミャンマー産業発展ビジョン」を策定しました

経済産業省は、ミャンマーの産業の将来像とそれを実現するために優先的に取り組むべき施策をまとめた「ミャンマー産業発展ビジョン」を策定しました。今後、本ビジョンの基本的考え方をもとに具体的な施策を立案・実施する、ミャンマーの取組に協力していきます。

ミャンマーは、2011 年の民政移管以降、我が国が支援するティラワ経済特区の開発を始め、急速な経済改革を進めており、我が国企業の進出と我が国のインフラ輸出の拡大が今後一層進むことが期待されています。

経済産業省は、こうした流れを加速するとともに、都市と地方のバランスのとれた発展を実現することを重要視するミャンマー政府の要請を踏まえ、ミャンマーの産業の将来像とそれを実現するために優先的に取り組むべき施策をまとめた「ミャンマー産業発展ビジョン」を、関係省庁の協力を得つつ作成しました。

「ミャンマー産業発展ビジョン」は、低廉・良質な労働力等の比較優位や内外実需を踏まえ、都市における外資主導の労働集約型産業の発展と、地方における農林水産業、高付加価値な織物等の地場産業の発展の好循環を起こす「都市・地方シナジー開発戦略」を掲げ、そのための電力・交通インフラの整備、予見可能で効率的な法制度、人材育成、戦略的産業政策等、そして農林水産業の潜在力の具現化を促すものとなっています。

「ミャンマー産業発展ビジョン」は、7月3日、安倍総理大臣から、日メコン首脳会議に出席するために訪日中のテイン・セイン・ミャンマー大統領に手交されました。経済産業省は今後、本ビジョンの基本的考え方をもとに、次期5カ年計画を策定し、さらに具体的な施策を立案・実施するミャンマーの取組に協力していきます。

(本発表資料のお問い合わせ先)

貿易経済協力局資金協力課長 佐藤

担当者: 長宗、天間、鈴木

電話: 03-3501-1511(内線 3161~3163)

03-3501-5869(直通)

2015年7月3日 経済産業省 発表資料

※経済産業省リンク <http://www.meti.go.jp/press/2015/07/20150703007/20150703007.html>

18. 食品サプライチェーン構築	
企業名：	リーテイルブランディング株式会社
場所：	ネピドー、シャン州ヘホ・ホポン
案件概要	
<ul style="list-style-type: none"> ミャンマーの農家に対し、全量の買取を約束し、年間を通じて安定した出荷(収入)を実現するため、冷凍加工場をつくり日本への出荷体制を構築する。流通(販売)先を確保してからの取組であることが、農業の技術支援とは大きく異なる、本プロジェクトの特徴。 ミャンマー産の農作物を加工・冷凍し、日本での販売を行う。日本の衛生品質基準をクリアする野菜の栽培・加工場の運営を行う技術移転をすることで、ASEANをはじめ全世界で受け入れられる付加価値のあるモノづくりができると考え、2013年にJICA(国際協力機構)のBOPビジネス連携促進準備調査の一環としてスタート。 	
現状と今後の見通し	
<ul style="list-style-type: none"> 現地合弁企業(ミャンマー1社・日本3社・台湾1社)を設立。冷凍野菜工場は、2015年9月の完成、2015年12月の日本への初回出荷を目指し、ネピドーにて建設中。本工場では300人の現地採用を計画中。 シャン州ヘホ近郊に食品加工場と3温度管理可能な物流拠点を計画。農作物・鶏卵・生花の拠点とすることでシャン州南部の地域発展にビジネスを通じ寄与したいと考えている。 	

※経済産業省 産業プロジェクト集

<http://www.meti.go.jp/press/2015/07/20150703007/20150703007-2.pdf>